

一般社団法人地理情報システム学会第 14 回理事会 議事録

開催日時：平成 23 年 4 月 8 日 14 時 00 分～16 時 35 分

開催場所：東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学本郷キャンパス 工学部 14 号館 802 室

出席者： 理事： 吉川（会長），浅見（副会長），太田，柴崎，玉川，正木，寺木（事務局長，記録）

配付資料： 2011_0408_GISA_第 14 回理事会資料，追加資料

議事

1. 開会

- ・ 吉川会長から 14 時 00 分に開会が宣された。
- ・ 定足数に達しており，理事会の成立が確認された。

2. 審議事項

第 4 号議案 国土地理院に対する測量技術者資格認定の登録申請について

太田資格担当理事から配布資料に基づき経緯の説明があった。学会の認知につながるなどから，GIS 上級技術者資格を登録することが決定した。

第 1 号議案 事業計画案について

寺木事務局長から配布資料に基づき説明があった。以下の事項が確認された。

- ・ 地理情報科学用語集の公開に問題ないことが鈴木厚志 立正大教授（第 2 版監修者）に確認された。
- ・ これまでに学会名称の変更について検討が行われた結果，賛成意見と反対意見の両方があり，踏まえる必要がある。

以下の事項が決定し，事業計画案は承認された。

- ・ 学会名称について企画委員会で検討を行う。

第 2 号議案 予算書案について

浅見財務担当理事から配布資料に基づき説明があった。収支改善のため学会費値上げが必要であろう，という問題提起があり，以下のような指摘があった。

- ・ 前年度実績に比して大きい予算が配分されている費目がある。
- ・ 独立した収入があり，その額に見合う支出により，単独で収支のバランスを図るべき費目がある。
- ・ 厳しく査定して予備費としてプールし，必要に応じて追加配分するという考え方もある。

また，東日本大震災への対応について以下のような意見交換があった。

- ・ 防災 SIG から追加配分要求があった（追加資料）。
- ・ 東北支部に対する配慮が必要である。
- ・ 他の分科会から追加配分要求がある場合などの方針を決めるべきである。

以下の事項が決定し，次回理事会で修正案が示されることとなった。

- ・ 防災 SIG への予算配分は当初予算の 10 万円と震災対策費からの配分で対応する。

第3号議案 会員規約案（会費の改定）について（総会事項）

第2号議案に引き続き討議が行われ、以下の事項が決定した。

- ・ これまでの理事会で決定した振込に関する議案は廃案とする。
- ・ 2012年度から実施して早急な収支改善を図るため、5月の社員総会で会員規約の改正案を告知し、10月の学術大会で臨時総会を開いて議決する。
- ・ 口座引落を原則とし、振込には手続に必要なコスト分の負担を求める。以下の額を理事会案とする。

	振込	口座引落
一般会員	11,000 円	10,000 円
学生会員	6,000 円	5,000 円

- ・ 海外の会員などに便宜を図るため、クレジットカードの利用について検討し、事務局で VISA の見積りをとる。

3. 報告事項

報告1 職務執行状況について

(1) 財務（浅見）

浅見財務担当理事から配付資料に基づき報告があった。

(2) 広報（正木）

正木広報担当理事から配布資料に基づき報告があった。GISNEXT の今後の記事について以下の方針が示された。

- ・ 年に一度、学術大会の報告を行う。
- ・ 支部、分科会で順番に記事を担当する。

(3) 編集・大会（玉川）

玉川編集・大会担当理事から配付資料に基づき報告があった。2012年度大会について以下の報告があった。

- ・ 理事会により中国支部で開催されることが決定した。
- ・ 中国支部から理事会に会場について提案がある予定である。

(4) 資格（太田）

太田資格担当理事から配付資料に基づき報告があった。

(5) 支部・分科会（小荒井）

配付資料に基づき報告があった（代読：寺木）。

報告2 1-3月の入退会会員について

寺木事務局長から配布資料に基づき報告があり、すべての入会が承認された。

報告3 会員資格喪失者について

寺木事務局長から配布資料に基づき報告があり、すべての入会が承認された。なお、2010年度を通した会員数の増減は以下の通りである。

- ・ 入会：96名
- ・ 退会：56名
- ・ 会員資格喪失者：61名
計：21名減

3. その他

(1) 東日本大震災への対応活動について

寺木事務局長から追加資料に基づき報告があり、以下のような討議があった。

- ・ 防災GIS分科会は、被災地の現場での対応に専念できるようにすべきである。
- ・ 現地では法務局データの復元、土地の権利確定など、具体的な作業が必要となる。
- ・ 学会として地理空間情報に関する提言を集めるべきである。
- ・ 緊急レベルの提言、今後十年以上をみすえたランドデザインレベルの提言、の2つの異なるレベルの提言が必要である。
- ・ グランドレベルの提言は、被災後のデータ復元から整備・活用に至る全体をカバーすべきである。一度限りの対応に留まらず、今後の災害への対策や海外での知見の活用を見据えた検討が必要である。

これらの意見を踏まえ、以下の事項が決定した。

- ・ メーリングリストと学会のサイトで提言を募集する。その文言は事務局長が作成し、会長・副会長と企画担当理事で検討する。
- ・ 企画委員会に提言について検討するワーキング・グループをつくり、企画担当理事がメンバーの案を作成する。
- ・ 緊急レベルの提言は、可能な限り早く公表する。
- ・ グランドデザインレベルの提言は、10月に実施される第20回学術大会での公表に向けて検討を行う。

(2) 5月21日(土)のスケジュールについて

第5回社員総会は東京大学工学部14号館2階144教室で5月21日(土)14時00分開始予定である。

なお、第15回理事会は、第5回社員総会に先立ち、東京大学工学部14号館2階144教室で5月21日(土)13時00分開始予定である。

4. 閉会

- ・ 吉川会長から16時35分に閉会が宣された。以上の決議を明確にするため、事務局長寺木彰浩が本議事録を作成し、議長及び出席理事を代表して理事浅見泰司が書名捺印する。

出席理事及び監事

理事 浅見 泰司

理事 太田 守重

理事 柴崎 亮介

理事 玉川 英則

理事 寺木 彰浩

理事 正木 千陽

理事 吉川 眞

平成 23 年 4 月 8 日

一般社団法人地理情報システム学会

議 長 吉川 眞

理 事 浅見 泰司

理 事 寺木 彰浩

以上

作成： 2011 年 4 月 10 日（寺木）

修正： 2011 年 4 月 11 日（寺木）